

カリキュラム・マネジメントと授業づくり

●横浜国立大学 高木展郎

一 カリキュラム・マネジメントの必要性

カリキュラム・マネジメントとは、訳すと「教育課程経営」になる。カリキュラムが「教育課程」であり、マネジメントが「経営」である。この二つの語が合わさることにより、カリキュラムを学習者の実態に合わせて意図的、計画的に構成し、運営・実践、評価することを、カリキュラム・マネジメントということになる。

教育課程を経営することは、各学校の児童の実態にあった年間計画と内容をいかに実行するか、という計画性と実行性とが問われることになる。

このことから、教育課程を年間を通してだけでなく、小学校では六年間、中学校では三年間という学習者の成長のスパンを見通したカリキュラムの作成が求められる。

学習指導要領は、この学習者の成長を見通した教育課程の規準を示している。それぞれの学年で育成すべき学力を示しており、その

学力の育成は意図的、計画的に行われなくてはならない。ここに、カリキュラム・マネジメントを行わなくてはならない根拠がある。

特に、国語科の学習指導要領の解説には、付録に「各学年の目標及び内容の系統表（小・中学校）」が示されており、ここには指導事項の具体的な内容の系統が示されている。

これからの時代の学校教育は、これまで以上に、教育内容の規準として学習指導要領に示されている学力を、意図的、計画的に育成していくことが求められている。

これまでの授業では、特に、長編の物語や書くことの教科書教材においては、じっくりと取り組むと年間の授業時数が足りなくなってしまうことも多かった。

そこで、年間指導計画として単元の時間的な軽重をつけ、教育内容の重点化を図ることが必要になる。また、学習者がじっくり考える時間をとることや、各領域で重点化された内容にじっくりと時間をかけることを、カリキュラム・マネジメントを通して実行してい



たかぎ のぶお 横浜国立大学教授。中央教育審議会教育課程部会国語専門部会主査代理・文化庁文化審議会委員・中央教育審議会評価ワーキング委員。



1年間通した1冊の教科書によって、1年間通して、見通しと振り返りを意識した学習が可能となった。



くことが必要となる。

二 これまでの小学校国語教科書の境界

カリキュラム・マネジメントを学校教育に位置づけて教育活動を行うには、これまで学校教育の主たる教材として用いてきた教科書のコペルニクス的な転換を図ることが最重要課題である。

小学校の国語の教科書は、これまで年間で上巻と下巻の二冊に分かれてきた。それは、小学生が重い教科書を毎日学校に持つてくることへの負担を軽減するため、というのが主な理由であると考えられる。しかし、それによって本来学校教育で育成すべき学力の保障が行いにくくなっていることも事実である。

それは、教科書が上巻下巻の二巻に分かれ、しかも、前期には後期の教科書が配布されていないために年間を見通して学習計画を立案することができず、さらに、学習者としての児童に、年間の学習の見通しを提示できないことは、螺旋的に向上すべき学力を分断することになる。そこでは、学習の系統性と文脈性が分断され、単に、一つ一つの教材をこなすだけの授業となる。

新しい学習指導要領の総則には、以下のよ
うな記述がある。

第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

(4) 各教科等の指導に当たっては、児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるよう工夫すること。

これまで指導計画の作成は、教師のためのみにあつたが、これからの時代の学校では、児童が学習の見通しを立てることも求められている。そのためには、一つの学習を対象とするのではなく、各学年ごとに、どのような学習が行われ、どのような学力の育成が図られるかということ、学習者である児童にも見通しとしてもたせることが重要である。さらに、前期で行ったことを後期に振り返り、学習のメタ認知を行うことも重要である。

しかし、これまでの小学校の国語教科書では、このことを実行することが不可能であった。それは、教科書が一つの学年を上巻下巻に分け、学習時期を分断してきたことによる。下巻の学習を行っているときに、既に児童が上巻を無くしているという場合もある。教科書で、学習者に一年間の学習の見通しをもたせることや、メタ認知として学習したことを



『学びを広げる』の活用によって、より弾力的で多様なカリキュラムを生み出すことができる。

振り返ることは、今回の学習指導要領の最重要課題であり、そのことを具体化できる教科書が求められている。

したがって、年間の学習を振り返ったり、文脈化を図ったりすることのできる教科書が、これからの時代が求めている学力を育成することのできる新しい教科書なのである。